

AKAYA PROJECT

赤谷プロジェクト地域協議会 / (公財)日本自然保護協会 / 赤谷森林ふれあい推進センター

赤谷の森だより

2015.03.15

vol. 28

トピックス

- ・地域と繋がる赤谷プロジェクト 上牧温泉辰巳館 深津 卓也
- ・遊びにおいでよ!赤谷の森学校へ! 赤谷の森学校 川端 白人



赤谷の森三二写真館!

今回のテーマ 「自然の造形美!」

自然ハ、不思議が
イッパイ!

「赤谷の森で増える
ニホンジカ」

赤谷の森でわかったこと

(株)群馬県野生動物事務所 代表取締役

春山 明子

旧三国街道で、毎年5月中旬～下旬にかけて、見かけることができるブナの葉についた虫こぶ「ブナハアカゲタマフシ」
観察場所：三国権現～群馬県側東屋（三坂線分岐）の街道周辺で見ることができます。

※ブナハアカゲタマフシは、タマバエの1種によってブナの葉表に形成された「虫こぶ」です。表面に淡紅色の軟毛が密生して毛玉状になります。
成熟するとともに赤褐色ないし茶褐色に変色し、虫こぶの壁は木質化して固くなります。内部に楕円体の幼虫室が1個あり、乳白色の幼虫が1匹入っています。



初めは少し膨らんだ程度!



赤く色づいてきます。



意外とたくさん付きます。



だんだんと葉っぱが枯れてきます。

赤谷の森でわかったこと

(株)群馬県野生動物事務所
代表取締役

春山 明子



赤谷プロジェクトでは、野生動物の分布の変遷を把握する目的で、51地点に自動撮影カメラを設置して調査をしています。最新の調査結果では、年々ニホンジカの撮影頻度が増加し、さらに撮影地点も増加傾向にある事がわかりました。

群馬県の統計によると、1987年時点では、赤谷プロジェクトエリア内でニホンジカの生息は確認されていませんでした。

また、このカメラの調査が開始された2008年当時は、東部のごく一部の地点でしかニホンジカを撮影することができませんでした。しかしその後、分布は年を追うごとに広がり、南部でも撮影できるようなると、一昨年はついに三国山の山頂でもシカの写真を撮影することができ、ほぼ全域に分布が広がったことが確認されました。こうなってくると心配なのは、餌となる植物への影響です。

特に新たにニホンジカが生息域を広げた地域では、被害に気がついた時には既に深刻な農林業被害を受けている事例も見聞きします。

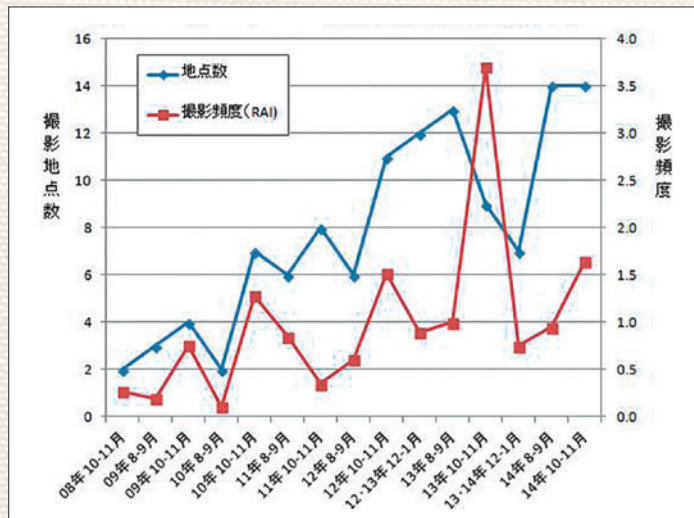
一方、森林植生全般が関与する生態系被害の場合はさらに対策が難しく、栃木県奥日光地域では多くの植物が食べられて消失してしまいました。さらに被害が進んでいる神奈川県丹沢山地等では、土壌流出や倒木被害など、森林の崩壊が深刻化し、水源の保全に頭を悩ませています。

地域の豊かな自然を保持し、その森の恵みを受けながら暮らすことができる環境を今、そして未来に繋げていくため、ニホンジカの増加を食い止める取組に皆様のご協力をいただけますようお願いいたします。



自動撮影カメラの設置

赤谷の森で増えるニホンジカ



赤谷プロジェクトにおけるシカの撮影地点数と撮影頻度(RAI)の変遷



自動撮影カメラで撮影したニホンジカ

地域と繋がる赤谷プロジェクト



たつみかん
上牧温泉 辰巳館

代表取締役社長
深津 卓也

自己紹介と普段取組んでいること(仕事含む)を教えてください。

皆さんこんにちは。私は上牧温泉、辰巳館の深津と申します。みなかみ町には18湯の温泉地がありますが、上牧は宿が4軒という小さな温泉地です。温泉病院があり、温泉の質も良く国民保養温泉地にも指定されていて療養、保養に適した静かな環境です。当館は4年間にわたり、放浪の画家、山下清さんにお越しいただいた宿で、原画やガラススタイル張りの大壁風風呂を楽しむことができ、夕食には地元の食材を活かした炭火山料理いろいろ献残焼が名物の宿です。温泉、人、炭火の温もり(辰巳館三温)を大切に守り何度となく訪れたくなる普段着の宿を目指し、上質な日常を感じていただけるよう努力しております。



炭火山料理いろいろ献残焼

赤谷プロジェクト関係者とお知り合いになった経緯をお知らせください。

新治の旅館の先輩たちが、地域の森「赤谷の森」で、「生物多様性の復元」と「持続的な地域づくり」に取り組んでいる話を常々聞いておりました。なかなか実際の活動には参加できておりませんが、昨年のみなかみCoCoira(ココイラ)のネイチャークラフト教室に参加し、地元の樹木や松ぼっくり、木の実を使い素敵なクリスマス用オブジェを作らせていただきました。山の自然の素材に直接触れることができ、森の魅力を体感させていただきました。



ネイチャークラフト教室参加

今後、赤谷プロジェクト関係者と行ってみたい企画等がありましたらお願いします。

昨年からはまった、みなかみの地域材を使った「カスタネット」づくりを、ぜひ宿泊されるお客様にも体験してもらいたいと思います。親子で楽しむオリジナルカスタネットづくり。音の違いや木の温もりがいいですね。将来はみなかみ18湯の「湯めぐり手形」になれば嬉しいですね。



カスタネットづくり

赤谷プロジェクトへ一言！お願いします。(何でもOK!)

地元の方とお客様が参加し交流の輪が広がる企画を期待しています。地道な自然保護活動に感謝するとともに、これからも、赤谷プロジェクトの活動を応援してまいります！



遊びにおいでよ！ 赤谷の森学校へ！

赤谷の森学校は、この4月で活動3年目に入ります。2月21日～22日も東京、神奈川の親子13組35人の参加者を得て「2015冬 雪の赤谷の森に集まろう」を開催しました。猿ヶ京清野旅館、民話と紙芝居の家、さるや、十日会など皆様の協力のもと、参加者は雪の中で大いに遊び、食べ、楽しんで、赤谷(みなかみ町新治地区)を第二の故郷のように感じて帰っていただけたと思います。

これからも、赤谷の森の四季を味わえる親子田舎体験コースや、三国街道を歩くトレッキングコースなどを開催していきます。特に親子田舎体験コースは、都会育ちの子供たちとの交流の場となりますので、地元の皆様のご参加も歓迎しています。

親子田舎体験コースは3カ月に1度(4回/年)開催しています。今回は春スクールを6月13日～14日に開催予定です。里山でピクニック、田んぼでホテル観賞、畑で野良仕事のお手伝いなどをプログラムとして予定しています。

カワバタヨリヒト
赤谷の森学校 代表 川端 白人



赤谷プロジェクトに関するイベント予定

イベント名	実施日	場所	備考
赤谷の森自然散策	H27.5/23(土)	旧三国街道	募集開始は4月下旬を予定(20名) ※赤谷森林ふれあい推進センター主催
赤谷の森学校(春)	H27.6/13(土)～14(日)	宿泊:仁田屋旅館	募集中(定員20名) ※赤谷の森学校主催
赤谷の森学校(夏)	H27.8/16(日)～17(月)	宿泊:美國荘	募集開始は未定(定員20名程度) ※赤谷の森学校主催

※赤谷の森学校主催 詳細は、<http://www.jugemusha.com/akayamori/index.html>



色々な活動をしているよ!

赤谷プロジェクトの活動

トピックス



H26.11.17~21

林野庁森林技術総合研修所「平成26年度生物多様性保全Ⅱ(実習編)研修」
地方公共団体及び森林管理局担当職員等へ赤谷プロジェクトの取組等を紹介しました。



H26.11.24

ネイチャークラフト教室〜マツのコーデラックス豪華版!
in 沼田〜松ぼっくりやドングリなどの木の実とビーズ等を使って、豪華なクリスマスデコレーションツリーを作りました。



H26.12.2

新治小学校6年生「秋の遠足事後学習」を行いました。遠足時に設置したセンサーカメラの撮影結果と地域に生息する動物等について学習しました。



H26.12.7

「第19回ごったくまつり・ボランティアフェスタめきた」に参加し、ネイチャークラフト体験を行いました。かわいひノキの球果を使ったストラップづくりです。



H26.12.7

AKAYA カフェ〜イヌワシの舞う赤谷の森を未来へ〜
「たぐみの里 Otowaya Cafe」において開催しました。話題提供：山崎亨(アジア猛禽類ネットワーク会長)



H27.1.24~25

みなかみ地域エネルギーフェスタ
みなかみ町新設10周年記念事業として開催されたイベントに赤谷プロジェクトPRブースを設置しました。



H27.2.11

「第3回赤谷の森自然散策」スノーシューによる散策のあと、民話と紙芝居の館にて、猿ヶ京温泉に古くから伝わるお話を聞き紙芝居を鑑賞!赤谷の森の魅力満載のひと時を過ごしました。



H27.2.19

平成26年度関東森林管理局森林・林業技術等交流発表会
課題名「ニホンジカ被害の未然防止型対策の検討と実践」を発表しました。発表者：藤木(赤谷センター)・春山(群馬県野生動物事務所)



H27.3.15

利根沼田ドリームプラン・プレゼンテーション(昭和村公民館)
プレゼンター(藤澤所長)として「元気もりもりみんな笑顔 For-e-smile〜森から笑顔を!〜」というテーマで参加してきました。

赤谷プロジェクト、って?

赤谷プロジェクトは、人と自然の共生と持続可能な地域づくりをめざして活動しています。地域、自然保護団体、国有林管理者という立場の異なる三者が共に活動するという、全国的にもめずらしい取組です。

活動地域は、群馬県みなかみ町北部、新潟県との県境に広がる約1万 ha (10km四方)の国有林。ほぼ中央に赤谷川が流れることから「赤谷の森」と呼んでいます。

植物や生き物の調査・研究、環境教育、研修の受入れなど、活動はさまざま。毎月第一土曜日に行われる「赤谷の日」には、県内外のサポーターが調査や体験学習などを行っています。どなたでも参加できますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

※トピックスの詳細は

赤谷森林ふれあい推進センター

検索



赤谷プロジェクトサポーター募集! (たくさん笑顔がまっています (^^)/)



赤谷プロジェクトは、一緒に活動に加わっていただけるサポーターを募集しています。活動の中で研修の機会を豊富に用意しているため、自然や野外活動の知識や経験がないと心配される方も、学びつつ活動に参加できます。

■お問合せ先

(公財)日本自然保護協会：出島・藤田

赤谷プロジェクト地域協議会

TEL 0278-66-0888

代表幹事 林 泉

メールアドレス kawafuru0888@gmail.com

(公財)日本自然保護協会【NACS-J】

TEL 03-3553-4107

プロジェクト担当 出島 誠一

http://www.nacsj.or.jp/akaya/index.html
メールアドレス akaya@nacsj.or.jp

林野庁関東森林管理局
赤谷森林ふれあい推進センター

TEL 0278-60-1272

所長 藤澤 将志

http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya_fc/index.html
メールアドレス akaya_postmaster@rinya.maff.go.jp